

令和2年度 コアプログラム研究会

第19回コアプログラムWEB会議 オンライン

日時： 2020年4月2日(木) 10時30分-12時15分

場所： 地球研セミナー室 1,2 他

コアプログラムの方針及び2020年度スケジュールの確認

- ◆ コアプロジェクト (フルリサーチ)： 近藤 康久 (PL)
「環境社会課題のオープンチームサイエンスにおける情報非対応性の軽減」(オープンサイエンス)
- ◆ コアプロジェクト (フルリサーチ)： 大西 有子 (PL)
「共創を育む手法と技法：環境問題の解決に向けた TD 研究のための実践的フレームワーク」(共創知)
- ◆ コア予備研究： 太田 和彦 (FS 責任者)
「厄介な問題としての環境社会問題に取り組む超学際的手法としてシリアスゲームの共創」
- ◆ コア予備研究： LEE, Sanghyun (FS 責任者)
「SDGs Nexus の持続可能なライフサイクル評価に基づくデータ駆動型意思決定支援プラットフォームの開発」

第20回コアプログラム研究会：地球研の研究マッピング(1) オンライン

日時：5月11日(月)13:30-15:30

共催：コアプログラム・IR室

目的

地球研の第4期の研究のあり方の議論に向けて、地球研の program/project/NIHU project/センター研究/外部資金研究など、地球研で現在行われている全ての研究と、過去のプロジェクト研究について、SDGs/JSRA/環境俯瞰図などの様々な観点から、そのテーマ・手法・対象などの繋がりや分類をマッピングする。

プログラム

- 1) 13:30-13:40 workshop の目的・進め方の説明
- 2) 現在の研究 mapping (13:40-14:30)
 - 13:40-14:00 Group A : SDGs Group B: JSRA
 - 14:00-14:20 Group A: 自由討議、Group B: 自由討議

- 14:20-14:30 現在の研究 mapping まとめ
- 3) 過去の研究 mapping (14:30-15:20)
- 14:30-14:50 Group A : テーマ Group B : 地域・手法
- 14:50-15:10 Group A : 自由討議、Group B: 自由討議
- 15:10-15:20 過去の研究 mapping まとめ
- 4) 15:20-15:30 振り返り

第 21 回コアプログラム研究会：コア FS (太田、LEE) オンライン

日時: 6 月 8 日 (月) 13:30-15:30

Program

1. 13:30-14:30 FS 太田和彦 (発表 30 分程度、質疑 30 分程度)

タイトル: 「厄介な問題に取り組むためのゲーム：5 つの取り組み中間報告」

1. 報告内容: 「本発表では、FS で行っている 5 つの取り組みの進捗と今後の予定についてご報告します。本 FS は、主に「シリアスゲーム網」(太田,2020)と「メッシュワーク」(Klenk, 2018)の 2 つの概念に依拠し、厄介な問題に取り組むためのゲーム(Game for Tackling wicked problems: G4T)の制作・活用に寄与する理論的枠組みの開発を行っています。現在は、持続可能な開発に関する超学際研究を、知識の創出・共有・活用という側面から評価する観点(Jacobi et al., 2020)を交え、下記の 5 つの取り組みを行っています: (1) 地球研の過去の実践プロジェクトのサーベイと分類、(2) シリアスゲーム制作のためのソフトインフラ調査、(3) 公共政策学から見たシリアスゲーム、(4) 実際の TD 研究の場で研究成果を利用するための具体的提案、(5) ゲームという営為の学際的な位置づけ。これらの取り組みの今後の進展について、皆様のご意見をいただければ幸いです

2. 14:30-15:30 FS LEE Sanghyun (presentation 30 minutes Discussion 30 minutes)

Title : "Trans-boundary resource management linking physical and virtual boundaries through multi-scale WEFL Nexus approach"

Outline: The main research question of this study is how we can secure resource allocation cooperation and changes in sources across multiple fields along with compensation schemes for those who end up altering resource use in the interest of other parties. The main contents of this project are to 1) study new methodology linking physical and virtual boundaries as trans-boundary management in terms of resource-sheds concept, and 2) develop the data-driven assessment platform with the case study of SDGs assessment through Social-Economic-Environmental (SEE) Water-Energy-Food-Land (WEFL) Nexus.

第 22 回コアプログラム研究会：コア FR (近藤、大西)

日時：7月13日(月) 13:30-15:30

Program

1. 13:30-14:30 コア FR 近藤康久、中原聖乃 (presentation 30 minutes Discussion 30 minutes)

Speakers: KONDO Yasuhisa and NAKAHARA Satoe

Title: Progress and current issues of the Open Team Science Project

Outline: This presentation reports on the recent progress and current issues of RIHN's Open Team Science Project. Topics include:

- Updates of the Open Team Science Principles (Kondo)
- Socio-psychological aspects of graphic recording (Kondo)
- Small-scale waterweed recycling in the Otsu-Mano area (Nakahara)
- Another circuit of environmental traceability (Nakahara)
- Publications and future plans (Kondo)

Presentation will be given in English, followed by English/Japanese discussion.

2. 14:30-15:30 コア FR 大西有子 (発表 30 分程度、質疑 30 分程度)

タイトル：知の共創プロジェクト：概要と計画

内容：4月から始まった新コアプロジェクト FR「共創を育む手法と技法：環境問題の解決に向けた TD 研究のための実践的フレームワーク」では、トランスディシプリナリー手法の実践の事例を広く概観、分析しつつ、TD 手法による共創プロジェクトの経験を参加者の視点から多角的に掘り起こし、体系化・共有することで、課題や現場に応じた、共創を育むための方法や技法を提案します。今回の研究会では、フィールドワーク等活動の制限がある中で、どのように研究をすすめるべきかの模索も含め、プロジェクトの紹介と計画を皆さまと共有したいと思います。